

平成 21 年 度

高 知 県 文 化 賞 受 賞 者

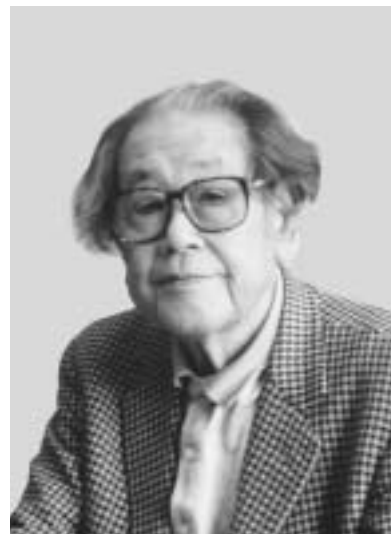
事 績 概 要

高 知 県

すぎもと つね お
杉 本 恒 雄 氏
(号 恒星)

89歳

現住所 南国市岡豊町



1 経歴の概要

昭和18年 3月	宮崎高等農林学校 卒業
昭和24年10月	高等学校教諭
昭和47年 3月	高等学校教諭退職
昭和49年 1月	南国市長
昭和50年10月	南国市長退任
昭和53年 7月	芸西病院理事
平成 7年 6月	芸西病院理事退任

2 社会における主な活動内容

昭和43年～現在に至る	月刊俳誌「壺」発行
昭和45年～現在に至る	同人句集・随筆集の監修
昭和52年～平成14年	高新文化教室俳句講師
昭和54年～平成18年	同人との俳句旅行主催
平成12年3月～8月	社会保険センター俳句教室講師
平成20年12月	月刊俳誌「壺」40周年記念号発行

3 受賞歴

昭和37年2月	第7回高知県出版文化賞	財団法人高知県文教協会
昭和46年2月	第5回椋庵文学賞	財団法人椋庵文学賞財団

4 主な出版物

昭和37年 3月	「真顔の石」(句集)
昭和46年12月	「巖の径」(句集)
昭和48年 7月	「風の姿」(随筆)
昭和54年 9月	「破繭の音」(随評)
平成 2年 1月	「紅葉の季節」(随筆)
平成 5年10月	「無縫の木」(句集)
平成 6年11月～	「芭蕉の風Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ」
平成14年 5月	「飛花落葉」(句集)
平成20年12月	「誰為草紙」(随筆)

5 事績の概要

氏は、長年にわたり俳句の創作活動に精励されるとともに、昭和43年俳句の集いを主宰して月刊俳誌「壺」を創刊し、以来、40年の多年にわたり定期発行を行っている。その間、自らの句集や随筆集を発行するとともに、同人の句集や随筆集などの発行を支援し、監修を行うなど高知県の現代俳句の振興に貢献されている。

また、出版された句集「真顔の石」は高知県出版文化賞を、句集「巖の径」は椋庵文学賞を受賞されるなど氏の作品は高く評価されている。

さらに、高新文化教室の講師や県内各地で行われる定例会に参加して、受講者に指導、助言を行うとともに、全国各地への俳句旅行を主催するなど、高知県の現代俳句の普及、向上に指導者としても尽力されている。

このように、多年にわたる氏の活動が、本県の芸術文化の振興に寄与している功績は大きい。

たけむらふみお 竹村文男 氏

80歳

現住所 高知市幸町



1 経歴の概要

昭和30年 3月	美術文化協会会員・高知支部長
昭和30年11月	第9回高知県展洋画部門特選
昭和32年	日本美術家連盟会員
昭和33年10月	第12回高知県展洋画部門特選
昭和35年10月	第14回高知県展洋画部門特選 無鑑査
昭和57年 9月	土佐清水市展審査員 以来、須崎市展、宿毛市展、野市美術展、安芸市展、四万十市展、室戸市展、高知県女流展、オールドパワー文化展、高知県展など美術展の審査員を歴任
昭和58年 7年	第2回郷土文化会館賞展 優賞
昭和58年10月	第15回日展入選 以来6回入選
昭和59年 9月	第46回一水会展佳作賞 以来4回受賞
昭和59年10月	高知県美術館建設期成同盟会結成、理事
平成 3年 4月	高新文化教室講師
平成 3年10月	高知県美術家協会理事
平成 4年 2月	第13回コレクターが賞を選ぶ展コレクター賞、ボルドー賞、金田賞
平成 4年 9月	一水会会友
平成 6年 4月	高知県美術家協会副会長
平成13年10月	第55回高知県展記念功労者表彰
平成14年 4月	財団法人高知県美術振興会理事
平成15年 5月	高知県展理事
平成16年 9月	第66回一水会展小山敬三奨励賞
平成17年 9月	一水会会員
平成18年 1月	高知県美術家協会会長

2 事績の概要

氏は、20歳で油絵の絵筆を握って以来、60年の多年にわたり画業に精励されている。第4回高知県展洋画部門に初出品した作品が入選し、第14回展で特選を受賞して31歳の若さで無鑑査となる。平成13年には長年にわたる県展への功績が評価され、第55回県展記念功労者表彰を受賞し、平成15年からは県展理事を務められている。

また、日展や一水会展など全国規模の美術展にも作品を出品し、その作品を展示した個展を開催するとともに、各種美術展の審査員を歴任し、本年は高知県展洋画部門の審査員を務めるなど、高知県の美術展の普及、向上に貢献されている。

さらに、高知県立美術館建設期成同盟会を中心となって組織し、県立美術館建設のための各種活動を行った。県立美術館の完成後には、同会を発展させて高知県美術家協会を設立し、各分野の美術家の連携と協会主催の美術展の開催を指導するなど高知県の美術の発展に尽力されている。

このように、多年にわたる氏の活動が、本県の芸術文化の振興に寄与している功績は大きい。

たに 谷 脇 たか 誉 こ 子 氏
はなやぎ しょうきょう
(花柳 菖 橋)

75歳

現住所 高知市堺町



1 経歴の概要

昭和24年 4月	日本舞踊花柳流理事花柳昌良に入門
昭和27年 3月	県立高知小津高校卒業
昭和28年 9月	花柳流名取 花柳菖橋
昭和40年10月	若手舞踊家による研究会「6人の会」結成
昭和54年10月	高知県推薦名流会第1期生
昭和58年 9月	第1回菖橋りさいたる公演「心中天網島」
昭和59年 5月	高知県日本舞踊協会会員、事務局長
昭和62年 4月	高新文化教室日本舞踊教室、叙情歌教室、舞と踊り教室講師
平成 3年 1月	花柳流四国支部役員
平成 3年10月	第2回菖橋りさいたる公演「曾根崎心中」
平成 7年11月	第3回菖橋りさいたる公演「高野聖」
平成14年11月	高知県推薦名流会無鑑査
平成16年 3月	第4回菖橋りさいたる公演「近松恋飛脚」

2 受賞歴

昭和55年 5月	高知市文化祭行事「白鷺おどり」高知市長賞 以来 2回受賞
昭和56年12月	高知県芸術祭行事「高知県推薦名流会」高知県知事賞 以来 8回受賞
平成20年 1月	花柳流「桜壽賞」受賞

3 事績の概要

氏は、16歳で日本舞踊花柳流花柳昌良に入門し、昭和28年には花柳流名取・師範資格を取得した。以来、長年にわたり日本舞踊家として研鑽を積み、昭和58年からは、高知県内在住の日本舞踊家が試みていない「心中天網島」や「曾根崎心中」などの文学的な新作のリサイタル公演を再度にわたり上演するとともに、県内の日本舞踊トップクラスの舞踊家が、完成度の高い舞踊を披露する高知県芸術祭行事「高知県推薦名流会」において、たびたび高知県知事賞を受賞して無鑑査となるなど、芸術性の高い舞踊家として活躍している。

また、高知県日本舞踊協会の事務局長として会員各流派を取りまとめ、高知市文化祭参加行事「白鷺おどり」や高知県推薦名流会、国民文化祭などへの参加を推進するとともに、高新文化教室の講師として日本舞踊を県民に広め、高知県の日本舞踊の普及と向上に貢献されている。

このように、多年にわたる氏の活動が、本県の伝統文化の振興に寄与している功績は大きい。

特定非営利活動法人高知^{こうち}こどもの^{としょかん}図書館

開館年月日 平成11年12月12日（9年）

事務所住所 高知市永国寺町6-16

1 経歴の概要

平成11年 7月 特定非営利活動法人認証

平成11年12月 全国で初めての特定非営利活動法人が運営する図書館として開館
開架冊数 約1万6千冊

2 主な活動内容

平成12年 1月～ 図書の貸出の他、「毎月のおはなし会」、「基礎から始める折り紙教室」、「絵本の時間」を定例化

平成15年 2月 『よんどく！？～当世若者読書案内』発行

平成15年 9月～ 「子ども読書ボランティア養成講座」実施

平成17年10月 開館5周年記念誌『本・こども・NPO』発行

平成20年 5月～ 「巡回こどものとしょかん」の実施

平成21年 3月 会員数 個人648人、19団体 開架資料数 約3万冊
現在、開館10周年記念事業を展開中

3 受賞歴

平成12年 1月 高新大賞 財団法人高知新聞厚生文化事業団



4 事績の概要

高知こどもの図書館は、平成7年に発足した「高知こどもの図書館をつくる会」が、「賛同者の集い」などの活動を重ねる中で賛同者の輪を広げ、平成11年、主にこどもを対象に、児童図書を中心とする本や関連資料を揃え、子どもの本や児童図書館の質の向上を目指すとともに、子育て支援事業等を行い、公益の増進に寄与することを目的に特定非営利活動法人を設立し、全国で初めてのNPO法人が運営する図書館として開館した。

以来、図書の貸出の他、毎月のおはなし会や折り紙教室、絵本の時間を月1回実施するとともに、各種企画展や講演会、ワークショップの開催など多彩な企画を実施し、こどもの読書環境づくりに尽力されている。

また、中学生・高校生を対象としたブックガイド『よんどく！？～当世若者読書案内』を2千部発行し、県内の中学校、高等学校へ無料配布した。

さらに、図書館がない県内各地域と連携して「巡回こどものとしょかん」事業を展開し、読み聞かせや図書の貸出を行うなど読書環境改善と交流の推進に取り組んでいる。

このように、同図書館の活動が、本県の教育の振興に寄与している功績は大きい。